

ソフトボール

1 期 日	7月27・28日 27日 10:00 競技開始 (日岡球場・舞鶴球場) 28日 9:00 " (日岡球場)
2 会 場	大分市営日岡球場、大分市営舞鶴球場
3 参加制限	(1) 学校単位で編成された各郡市代表チームとする。ただし、単一校では出場最低人数に足りずチーム編成ができない場合、複数校合同チーム編成規定によるチームの参加を認める。 (2) 引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名(スコアラーを含む)合計21名以内とする。引率責任者・コーチは、ベンチを出て打合せを行うことはできない。 (3) 引率責任者は、出場校の校長・教員とし、監督は教職員とする。コーチは、教職員もしくは、中体連に外部コーチとして登録して、継続的に指導に携わっている者とする。
4 競技規則	(1) 競技は、2017年度オフィシャルソフトボールルールに準じて行う。 ・塁間は18, 29m、ピッチャープレートの距離は女子12, 19m、男子14, 02mとする。 ・捕手はスロートガード付きマスク、ヘルメット、ボディープロテクター、レガースを必ず使用する。 ・金属性のスパイクの使用は禁止とする。 ・打者、次打者、走者は必ず両耳ヘルメットを着用しなければならない。 ・男子は、全員同一の帽子をかぶらなければならない。女子は、帽子、サンバイザーを使用してもよいが、同色同意匠でなければならない。 ・ユニホームは、同色同意匠とする。選手・監督・コーチは、必ずユニホームおよびスパイク(靴)を着用する。(監督は、私服やスニーカーではベンチ入りできない。) ・背中と胸下(統一されていれば、左右どちらでもよい)にユニホームナンバーを付けるものとする。監督は30、コーチ31、主将は10、選手は1～25とする。また、背中に個人名は入れない。 ・監督を兼務しない引率責任者の服装は、ユニホーム以外とし、ネクタイ姿もしくは、上は白系のポロシャツ、下は紺系の長ズボン又はスカートとする。 ・準備投球中に捕球する選手は、マスク・ヘルメットを着用する。(登録選手に限る) (2) 使用球は、本部が指定するケンコー、ナイガイ、マルエスのゴム検定3号球とし、バットは3号バットとする。 (3) 試合に出場できる選手はオーダー表に記載した選手とし、オーダー表に記入できる選手は正しく登録された選手とする。登録選手の変更は、本大会要項総則によるものとする。ただし、背番号の変更は行わないものとする。 (4) 準決勝までは90分、決勝は120分を越えて新しい回に入らない。7回以後及び時間超過後はタイブレーカーにより決定する。 (5) コールドゲームは、5回以降7点以上の差で適用する。60分を越えた時15点以上の差があれば新しい回に入らない。 (6) ベースコーチは生徒とし、危険防止のためヘルメットを必ず着用する。 (7) プレイヤー等が、相手チームに対して名誉を傷つけたり、侮辱する言葉を使った場合(やじ等)は、退場を含む処置を行う。 (8) 選手及び関係者が、キャッチャーの構え等によるコースの指示をすることを禁止する。 (9) フィールド内外での言動は、監督の責任のもとで行うものとする。 (1) 競技は郡市代表による学校対抗とし、トーナメント方式で行う。 (2) シード制を採用する。
5 競技方法	
6 備 考	(1) ベンチに入れる人数は、上記参加制限の最大21名以内とする。 (2) 引率責任者、監督、コーチ以外の者が、選手を集める行為や指示を与えることを禁止する。 (3) 選手・監督は、開始予定の60分前までに集合し、確認を受けることとする。 (4) 競技運営上支障となる行為や問題となる行為については、協議の上失格となることもある。 (5) 本部は、舞鶴球場(27日)、日岡球場(28日)とする。(ゴミは必ず持ち帰る。) (6) 審判は、ソフトボール協会審判員が、運営は、教員及び引率教員が行う。 (7) 4回終了時に給水時間を設定する(この時間にミーティング、指示等は行わない)。また、守備が長時間におよぶ時は、給水時間をとる。 (8) 優勝・準優勝チームに九州大会出場資格を与える。 (9) 大会参加にあたっては、郡市代表選手としてふさわしい服装、身なり、行動を心がける。状況(染髪・眉剃り・装身具等)に応じては大会参加を認めない。